



そばにいるから、できることがある。

JP 日本郵政グループ

エスデージズブック

2019年11月

**お客さまや地域社会に寄り添い、お役に立つ。
それが日本郵政グループのCSRです。**

私たち日本郵政グループは、社会の重要なインフラである郵便局ネットワークを基盤に、郵便・貯金・保険という生活に不可欠なサービスを提供する企業グループです。
地域に密着した存在として、皆さまのそばにいる私たちだからこそ、できることがある。
それは、それぞれの地域の皆さまの暮らしに寄り添い、地域社会の一員となって生活をサポートすること。

「トータル生活サポート企業グループ」、それが私たちの目指す姿です。

皆さまのそばで、誰もが安心して暮らせる、安全で豊かでより良い社会を、つくっていききたい。
そして、それを「持続可能な社会」として未来へと引き継いでいきたい。
私たちはこうした社会の実現に貢献するため、ユニバーサルサービスを提供する企業グループとして、公正、透明かつ健全な経営を堅持しつつ、グループ一体となってCSR活動に取り組んでまいります。

「トータル生活サポート企業グループ」を目指す日本郵政グループが、どんなライフシーンで役に立っているか、見に行ってみよう！



グループスローガン **そばにいるから、できることがある。**

郵便局ネットワーク

ゆうちょ銀行
株式会社ゆうちょ銀行

日本郵政
日本郵政株式会社

かんぽ生命
株式会社かんぽ生命保険

日本郵便
日本郵便株式会社

主な関係会社

郵便・物流サービス支援

- 日本郵便輸送(株)
- 日本郵便メンテナンス(株)
- JPビズメール(株)
- 東京米油(株)

国際物流

- Toll Holdings Limited
- JPTールロジスティクス(株)
- トールエクスプレスジャパン(株)

物品販売

- (株)郵便局物販サービス
- (株)JP三越マーチャンダイジング

郵便局支援業務

- 日本郵便オフィスサポート(株)

広告・コミュニケーション

- (株)JPメディアダイレクト
- JPコミュニケーションズ(株)

損害保険

- JP損保サービス(株)

人材・雇用

- 日本郵政スタッフ(株)
- ゆうせいチャレンジド(株)

IT支援

- かんぽシステムソリューションズ(株)
- 日本郵政インフォメーションテクノロジー(株)
- (株)システムトラスト研究所

不動産管理・開発

- 日本郵政不動産(株)
- JPビルマネジメント(株)

投資

- JPインベストメント(株)
- 日本郵政キャピタル(株)

社歴

148年

歴史



「日本近代郵便の父」と呼ばれる前島密が、1871年に誰もが平等に使える制度として郵便システムを構築。その後、郵便・貯金・保険の3事業を中心とする商品・サービスを提供してきました。その歴史は148年に及びます。

郵便局全国カバー率

100%

国内ネットワーク

約2万4,000の郵便局ネットワーク。山間部や離島に至るまで国内1,724すべての市区町村をカバーし、地域の皆さまの生活をサポートします。



皆さまの生活に寄り添う日本郵政グループ

日本郵政グループの始まりは今から148年前、1871年に創業した郵便事業に端を発します。その後、1875年に郵便貯金事業を、1916年に簡易保険事業をそれぞれ創業し、以来、山間部から離島に至るまで全国津々浦々に存在する約2万4,000局の郵便局を通じて、お客さま一人ひとりに寄り添うサービスをご提供してきました。

「人生100年時代」といわれる近年では、お客さま一人ひとりの多様なライフスタイルやライフステージに応じた商品・サービスを提供。お客さまの豊かな生活・人生の実現をサポートする「トータル生活サポート企業グループ」を目指しています。



海外物流拠点

約50か国

グローバルチェーン

日本郵便の国際物流子会社TOLLが有する世界約50か国1,200か所以上の拠点を通じて、世界各国をつなぐシームレスな物流サービスを提供しています。



市区町村で

97%

地域協力に関する協定の締結率

地域の皆さまが安心して暮らせる社会を実現するため、全国の市区町村と協定を結び、郵便局の従業員が業務中に気づいた異変を通報する「地域見守り活動」などを行っています。

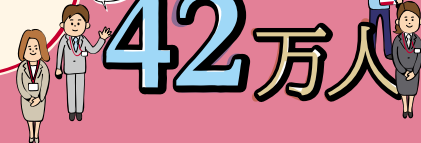


人材

働いている従業員の数

約42万人

日本郵政グループで働く従業員は約42万人。地域に分け隔てなくサービスを提供する「ユニバーサルサービス」を支えています。人材こそ日本郵政グループの資産です。



人生100年をトータルで支え、人も地域も元気な社会へ

「人生100年時代」を安心して、健やかに歩んでいけるように。日本郵政グループは皆さまの豊かな生活・人生の実現をサポートする「トータル生活サポート企業グループ」を目指し、お客さまや地域に寄り添い、お客さま一人ひとりの多様なライフスタイルやライフステージに応じた、さまざまな商品・サービスを安定してご提供しています。



小さな家族誕生のお祝い

新しい命の誕生を記念して、写真を使ったオリジナル切手の作成やギフトサービスをご提供。幼児期の育成支援も行っています。

日本郵政グループが提供するサービス

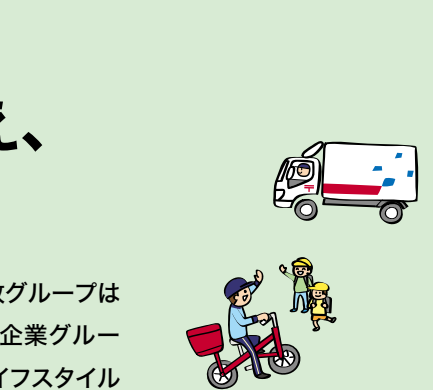
- お誕生祝い**
 - オリジナル切手作成サービス
 - カタログギフト
- 幼児育成支援**
 - JP子どもの森づくり運動
 - 「お手紙ごっこ遊び」支援キット
 - 子育て支援に配慮した不動産開発

▲オリジナル切手作成サービス

郵便局で提供する基本サービス

国内すべての市町村をカバーする約2万4,000の郵便局ネットワークで、地域の皆さまの生活をサポートするサービスを提供しています。

- 切手・はがきの販売
- 郵便・荷物の引受、お届け
- 貯金、送金・決済
- 生命保険
- 年金受取、国債販売



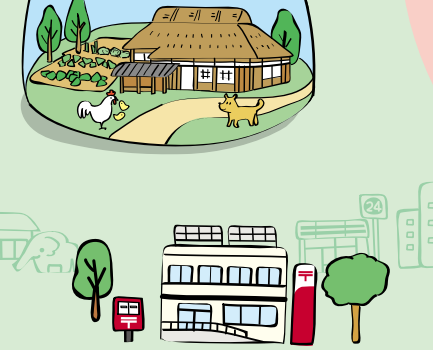
子どもたちの学びをサポート

子どもたちが安心して未来を切りひらいていけるよう学資保険や、社会教育でサポート。知的好奇心を育む博物館なども運営しています。

日本郵政グループが提供するサービス

- 未来に備えて**
 - はじめのかんぽ(学資保険)
- 学習、教育**
 - 金融教育
 - 手紙作文、全日本年賀状大賞コンクール
 - 郵便局見学、職場体験
 - 郵政博物館*
 - 広島通信病院旧外来棟被爆資料室

* (公財) 通信文化協会が運営



郵便局で提供する基本サービス

国内すべての市町村をカバーする約2万4,000の郵便局ネットワークで、地域の皆さまの生活をサポートするサービスを提供しています。

- 切手・はがきの販売
- 郵便・荷物の引受、お届け
- 貯金、送金・決済
- 生命保険
- 年金受取、国債販売



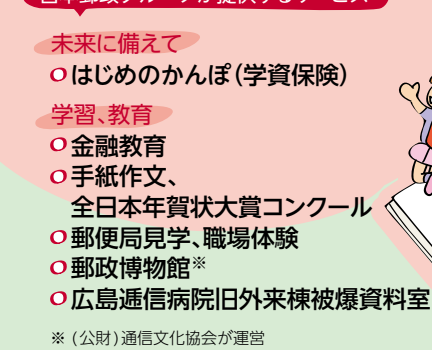
親元を離れた生活に

離れて暮らす子どもの自立の第一歩をサポート。日本全国どこにいても、郵便局ネットワークが親とをつなぎます。

日本郵政グループが提供するサービス

- 送金
- スキルを活かせる仕事の紹介(人材派遣サービス)

▲郵政博物館



毎日の健康に

おなじみの音楽と掛け声、そしてスマホアプリで、皆さまの健康をサポート。小さなお子さまからお年寄りまで、世代を超えたコミュニケーションツールにも。

- ラジオ体操
- すこやかんぽ(健康応援アプリ)
- 通信病院



新しい人生の門出に

社会人としての新生活をさまざまなサービスでサポート。また、お世話になった方々へ、結婚のごあいさつや新居のご案内をお届けします。

日本郵政グループが提供するサービス

- 給与受取
- ゆうちょPay(スマホ決済)
- mijica(Visaデビットカード・プリペイドカード)
- 自動車保険、傷害保険、自賠責保険
- 郵便局の総合印刷サービス

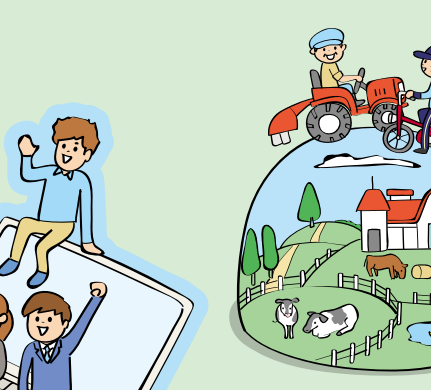
▲郵政博物館



街ににぎわいを

人と人、街と街、時代と時代を結び、たくさんの「ワクワク」をお届け。街や暮らしに貢献する商業施設を目指しています。

- KITTE丸の内
- KITTE名古屋
- KITTE博多



みんなの思い出づくりに

「かんぽの宿」で、楽しい・おいしい思い出づくりをお手伝い。郵便局で手荷物一時預かりや訪日外国人向け案内サービス*1も提供しています。

日本郵政グループが提供するサービス

- かんぽの宿
- 郵便局の手荷物一時預かりサービス*2
- 訪日外国人向け旅行サービス*2

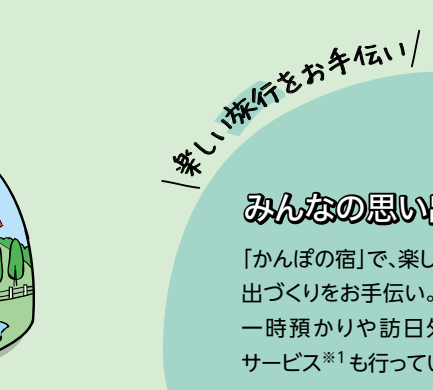
*1 訪日外国人向け旅行サービスをご利用の方向けの案内サービスです。
*2 一部郵便局に限ります。



退職後の暮らしに

退職後の充実した暮らしを保険でサポート。公的年金を受け取ることもできます。

- 長寿のしあわせ(長寿支援保険)等
- 変額年金保険
- 個人型確定拠出年金(iDeCo)
- 年金受取



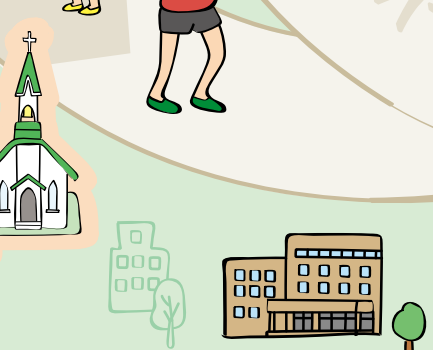
ふるさとへの思いをつなぐ

すぐには行けないふるさと、すぐには会えないご家族への思いを、高齢者みまもりサービスやふるさと納税で、郵便局がつなぎます。

日本郵政グループが提供するサービス

- 郵便局のみまもりサービス
- 「ふるさと納税」支援サービス

▲郵政博物館



郵便・貯金・保険のサービスを、全国どこに住んでいても、誰でも、一律に受けられるようにするという社会的使命を果たすため、郵便局ネットワークの維持に努めています。

- 不動産開発を通じた街づくり
- 成長事業への投資
- 障がい者雇用(清掃、印刷事業)



楽しい旅行をお手伝い!

「かんぽの宿」で、楽しい・おいしい思い出づくりをお手伝い。郵便局で手荷物一時預かりや訪日外国人向け案内サービス*1も提供しています。

日本郵政グループが提供するサービス

- かんぽの宿
- 郵便局の手荷物一時預かりサービス*2
- 訪日外国人向け旅行サービス*2

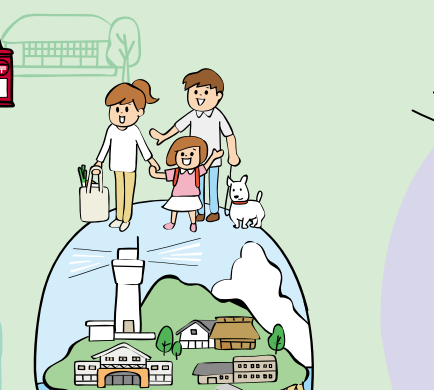
*1 訪日外国人向け旅行サービスをご利用の方向けの案内サービスです。
*2 一部郵便局に限ります。



地域・社会に寄り添って

地域や多様な人材の「これから」に、さまざまな形で貢献しています。

- 不動産開発を通じた街づくり
- 成長事業への投資
- 障がい者雇用(清掃、印刷事業)



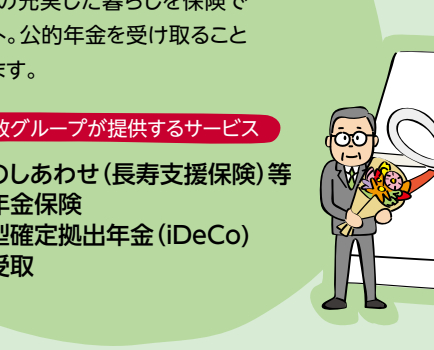
前向きな老後のために!

次の世代へのバトンタッチをお手伝い。終活紹介サービスで、老人ホームや相続、葬儀・お墓のご相談に応じます。

日本郵政グループが提供するサービス

- 終活紹介サービス(一部地域に限ります)

▲郵政博物館



郵便・貯金・保険のサービスを、全国どこに住んでいても、誰でも、一律に受けられるようにするという社会的使命を果たすため、郵便局ネットワークの維持に努めています。

- 不動産開発を通じた街づくり
- 成長事業への投資
- 障がい者雇用(清掃、印刷事業)



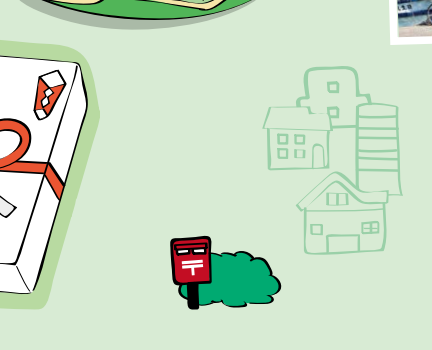
子どもたちの学びをサポート

子どもたちが安心して未来を切りひらいていけるよう学資保険や、社会教育でサポート。知的好奇心を育む博物館なども運営しています。

日本郵政グループが提供するサービス

- 未来に備えて
 - はじめのかんぽ(学資保険)
- 学習、教育
 - 金融教育
 - 手紙作文、全日本年賀状大賞コンクール
 - 郵便局見学、職場体験
 - 郵政博物館*
 - 広島通信病院旧外来棟被爆資料室

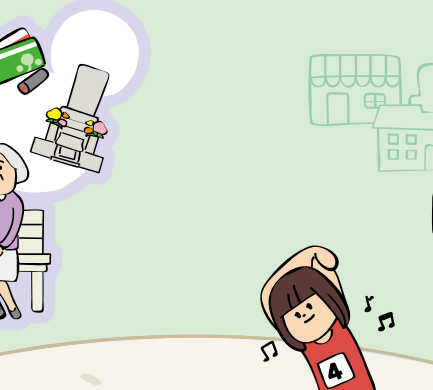
* (公財) 通信文化協会が運営



毎日の健康に

おなじみの音楽と掛け声、そしてスマホアプリで、皆さまの健康をサポート。小さなお子さまからお年寄りまで、世代を超えたコミュニケーションツールにも。

- ラジオ体操
- すこやかんぽ(健康応援アプリ)
- 通信病院



新しい人生の門出に

社会人としての新生活をさまざまなサービスでサポート。また、お世話になった方々へ、結婚のごあいさつや新居のご案内をお届けします。

日本郵政グループが提供するサービス

- 給与受取
- ゆうちょPay(スマホ決済)
- mijica(Visaデビットカード・プリペイドカード)
- 自動車保険、傷害保険、自賠責保険
- 郵便局の総合印刷サービス

▲郵政博物館



街ににぎわいを

人と人、街と街、時代と時代を結び、たくさんの「ワクワク」をお届け。街や暮らしに貢献する商業施設を目指しています。

- KITTE丸の内
- KITTE名古屋
- KITTE博多



みんなの思い出づくりに

「かんぽの宿」で、楽しい・おいしい思い出づくりをお手伝い。郵便局で手荷物一時預かりや訪日外国人向け案内サービス*1も提供しています。

日本郵政グループが提供するサービス

- かんぽの宿
- 郵便局の手荷物一時預かりサービス*2
- 訪日外国人向け旅行サービス*2

*1 訪日外国人向け旅行サービスをご利用の方向けの案内サービスです。
*2 一部郵便局に限ります。



退職後の暮らしに

退職後の充実した暮らしを保険でサポート。公的年金を受け取ることもできます。

- 長寿のしあわせ(長寿支援保険)等
- 変額年金保険
- 個人型確定拠出年金(iDeCo)
- 年金受取

ふるさとへの思いをつなぐ

すぐには行けないふるさと、すぐには会えないご家族への思いを、高齢者みまもりサービスやふるさと納税で、郵便局がつなぎます。

日本郵政グループが提供するサービス

- 郵便局のみまもりサービス
- 「ふるさと納税」支援サービス

▲郵政博物館

郵便・貯金・保険のサービスを、全国どこに住んでいても、誰でも、一律に受けられるようにするという社会的使命を果たすため、郵便局ネットワークの維持に努めています。

- 不動産開発を通じた街づくり
- 成長事業への投資
- 障がい者雇用(清掃、印刷事業)

日本郵政グループ SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

より良い地球の未来の実現を目指して、2015年9月、国連全加盟国(193か国)は国際社会共通の目標を掲げました。それが「SDGs(持続可能な開発目標)」です。日本郵政グループは、事業を通じてSDGsの掲げる目標の達成に向けて取り組むことで、世界が抱える課題の解決を目指し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

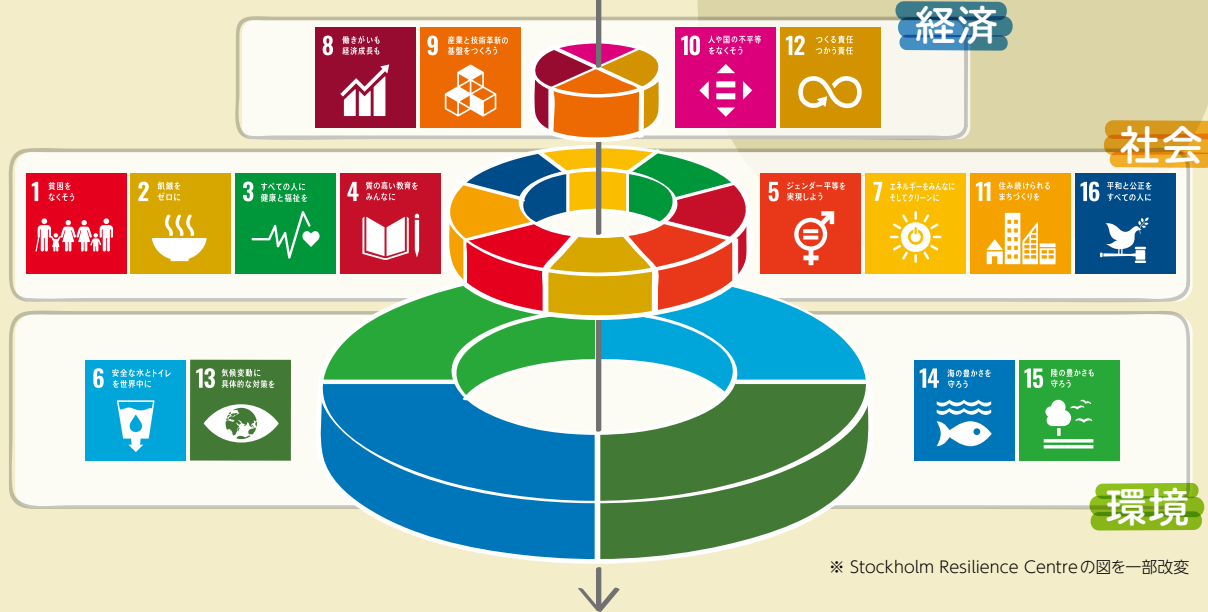
国、政府、NPO、企業、地域、個人…
みんなで手を取り合って、
より良い未来をつくろう!

個々の目標やターゲットは相互に関連し合っているんだよ

経済は社会に、社会は環境に支えられて成り立ちます。
「経済」「社会」「環境」の3つを統合的に向上させることが重要です。

SDGsが目指すもの、それは持続可能な社会

「誰一人取り残さない」をキーワードに、開発途上国も先進国も世界中が共に持続可能な社会の実現に取り組むSDGsは、気候変動や資源、貧困や不平等、経済成長と雇用など、2030年までに世界で取り組むべき17の目標により構成されています。17の目標を「経済」「社会」「環境」の3つの層に分類したのが下の図です。経済発展や技術革新により人々の生活は物質的には豊かなものとなりました。しかしこうした経済成長の背景には安定した社会が不可欠であり、安定した社会は豊かな自然と地球環境なしには成り立ちません。次の世代が必要とする社会基盤や地球環境を持続可能な形で維持し、誰もが安心して暮らせる安全で豊かな社会を築くこと。それがSDGsの目標です。

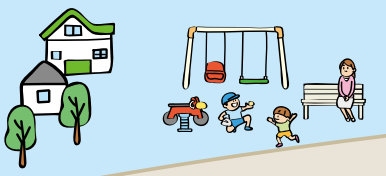


日本郵政グループとSDGs

時代と共に変化する社会課題やニーズと誠実に向き合い、これらを解決するための価値(商品・サービス)を創出し、共有すること。それが日本郵政グループのサステナビリティ経営の理念です。この理念のもと、私たち日本郵政グループは、重点課題(マテリアリティ)として「地域社会」「地球環境」「人」の3つを選定し、世界の課題解決を目指すSDGsの各目標と連動させ、事業を通じた社会課題の解決を推進してきました。電気自動車の導入・拡大によるCO₂排出量の削減や、人権方針の制定などもそのひとつです。全国どこにいても、誰もが安心して暮らせるように。日本郵政グループは今後も、SDGs達成に向けて積極的に取り組んでいきます。

日本郵政グループの重点課題とSDGs

	重点課題	対応するSDGsの目標	推進状況	2020年度目標	2030年に目指す姿
社会	地域社会の発展・活性化	目標11 持続可能な都市	地域との連携協定数(2019年6月現在) 都道府県 29件(62%) 市区町村 1,681件(97%)	継続的な郵便局ネットワークによるユニバーサルサービスの提供	お客さまの生活を最優先し、社会の重要なインフラである郵便局ネットワークを基盤に、お客さまの人生のあらゆるステージで必要とされる商品・サービスを提供する
	次世代育成	目標4 教育	手紙の書き方体験授業(2018年度)実施校数 20,050校 金融教室(2018年度)実施校数 71校		
	健康的な暮らしの促進	目標3 保健	夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会(2018年度)全国 50会場		
環境	温室効果ガス排出量の削減	目標13 気候変動	削減量(2018年度) ▲75,015.6トン(7.1%削減)	CO ₂ 排出量(対2016年度比) ▲4.7万トン(4.4%削減)	気候変動や地球温暖化に配慮し、企業活動を通じて積極的に社会に貢献する
	資源の有効利用と廃棄物の削減	目標15 陸上資源	「ご契約のしおり・約款」Web版の提供に伴う環境保護団体への寄付(2019年8月現在) 34団体		
人	人材の育成 働き方改革	目標8 経済成長と雇用	女性管理者比率(2019年4月1日現在) ● 郵政: 10.2% 郵政: 11%以上 ● 郵便: 7.4% 郵便: 10%以上 ● ゆうちょ: 14.4% ゆうちょ: 14%以上 ● かんぼ: 12.1% かんぼ: 14%以上 障がい者雇用率(グループ)(2019年4月現在) ● 法定雇用率を上回る 2.29% ... 目標 2.5%の達成維持		従業員一人ひとりがいきいきと能力を十分に発揮し活躍できる



熊本市

里地里山再生事業

NPOを立ち上げ、耕作放棄地解消事業に取り組み、借り受けた耕作放棄地でそば畑・ブルーベリー畑・MTBのコースづくりを進めています。また、空き家と田舎暮らし希望者をつなぐ空き家バンク事業も始めています。



日本郵便 御船上野郵便局 高松 克有



出展：特定非営利活動法人愛郷吉無田 吉無田高原を守る会 CJくまもと吉無田実行委員会



福岡県

防災マップの作成

平成29年7月九州北部豪雨で多くの簡易郵便局が被災したことをきっかけに、九州の簡易郵便局を対象とした防災マップを作成・紹介して、防災への意識づけを行いました。



日本郵便 福岡県簡易郵便局連合会 茂森 岳人



チームJP わたしたちのSDGsアクション

～未来のためにできること～

日本郵政グループの従業員一人ひとりが仕事や生活の中で行っているSDGsの取り組みの一部をご紹介します。



一人ひとりのアクションを集結し、大きな力に変えよう!

福岡県

「グッジョブカード」でコミュニケーション力を向上

「〇〇さんの対応は、こういうところがいいね!」とSV※等が気づいた良い点を「グッジョブカード」に書き、職場に掲示するとともに本人にも渡しています。「こういう伝え方があるのか」とお互いに参考にしあうことで、スタッフ全員が「自身のコミュニケーションの取り方」に一層気を配るようになってきたと思います。



※SV(スーパーバイザー) お客様からのお問い合わせに 대응するオペレーターのフォロー・モニタリングを行う。

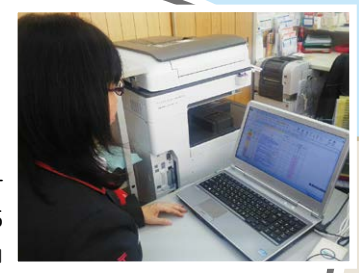
ゆうちょ銀行 ゆうちょ福岡コールセンター (左から) 梅木 貴寿 豊田 将平



三重県

文書を印刷しないペーパーレスの取り組み

原則的に文書を印刷しないペーパーレスの取り組みを2015年から実施しています。パソコンの共有フォルダに従業員別の文書閲覧用ファイルを作成し、タイトルをクリックすると文書内容が確認できるようにしています。



日本郵便 立神郵便局 (左から) 森田 由美 佐藤 啓子 前田 新一



鳥取県

地域食堂(こども食堂)への支援

鳥取市が支援する「こども食堂」の取り組みに賛同し、会内全ての郵便局(55局)に「フードボックス」を設置。地域の皆さまから家庭で使用見込みのない食品を持ち寄っていただき、それらをこども食堂へ寄付する活動を行っています。この取り組みは、全国の郵便局に先駆けて行ったものであり、現在は他の地域にも横展開されています。



日本郵便 因幡地区連絡会 (左から) 井上 昌也 谷口 雄史 河上 直樹

北海道

ペットボトルキャップ等の回収ボックスを設置

手作りの「ころころエコキャップ装置」を郵便局の窓口に置き、お客さまに楽しんでもらいながらペットボトルキャップを集めています。集まったキャップはエコキャップ運動団体に回収してもらい、リサイクル資源活用やその収益による途上国への医療支援、障がい者雇用などにつなげています。



楽しいかけになっているのね!



日本郵便 札幌大通郵便局 (左から) 本間 真幸 中野 有希子 田中 綾



大阪府

スリランカの子どもたちに綺麗な水を

スリランカに寄付された井戸・トイレ・手洗い場などを、NPOを通じて現地で作成し、衛生状態の改善や安心して教育を受けられる環境づくりに貢献しています。



日本郵便 旭新森郵便局 堺 弓子

東京都

訪問学習の受け入れ

学生を対象とした訪問学習を受け入れています。実際の業務を見学していただくことで、職業や社会を知るお手伝いをしています。



かんぽ生命保険 東京事務サービスセンター 小橋 さやか

取り組み

1 災害復興支援

大きな災害発生時には、郵便・貯金・保険の非常取扱等を実施しています。また、避難所への配達や車両型郵便局の派遣等により、被災者の皆さまのご不便を少しでも解消するように取り組んでいます。

西日本豪雨(平成30年7月豪雨)での対応



車両型郵便局を派遣



地域の情報を郵便局内に掲示

令和元年台風第19号での対応



清掃ボランティアに参加

日本郵政グループの重点課題(マテリアリティ)

地域社会の発展・活性化



目標11 持続可能な都市

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

取り組み

2 まちづくりへの貢献

不動産開発や、過疎地域の駅と郵便局の機能連携などによって、地域住民の利便性の向上やにぎわいの創出に貢献しています。



不動産開発

さらなる発展が期待される広島駅南口において、まちづくりに貢献できるように、広島東郵便局跡地の開発を決定(広島駅南口計画(仮称))。



駅と郵便局の機能連携

内房線の江見駅(千葉県鴨川市)と江見郵便局舎の老朽化が進んでいることから、江見郵便局舎を江見駅敷地内に移転・新築し、郵便局員が郵便局と駅両方の窓口を担う。2020年8月運営開始予定。

地域社会における課題や要請に耳を傾けながら、事業を通じてそれらに応え、地域社会との持続的な共生に努めています。



日本郵政グループの取り組み紹介

Society 社会

日本郵政グループの重点課題(マテリアリティ)

次世代育成



目標4 教育

すべての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

取り組み

3 学習機会の提供

子どもたちの伝える力やコミュニケーション力の育成を図る「手紙の書き方体験授業」支援のほか、「金融教育」「かんぼの宿職場体験」などを実施し、子どもたちに学習の機会を提供しています。



金融教育

小・中学生を対象とした出前授業などで、お金の大切さやお金との付き合い方を伝える。



「テキストはわかりやすく、面白い授業だった。」
「楽しんで学ぶことができた。」

受講した子どもたちの声



かんぼの宿職場体験

小・中学生を対象に学校生活では体験できない、「働く」体験を提供。

日本郵政グループの重点課題(マテリアリティ)

健康的な暮らしの促進



目標3 保健

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

取り組み

4 社会の健康をサポート

健康応援アプリの提供やラジオ体操の普及・推進などによって、「健やかな毎日でありたい」と願う人々の健康的な生活をサポートしています。

健康応援アプリ「すこやかんぼ」

手軽に健康づくりに取り組める健康応援アプリ「すこやかんぼ」を提供し、皆さまの健康づくりをサポート。



ラジオ体操の普及・推進

NHKおよび全国ラジオ体操連盟と共同で、「ラジオ体操」の普及・推進に努める。

日本郵政グループの重点課題(マテリアリティ)

温室効果ガス排出量の削減



目標 13 気候変動

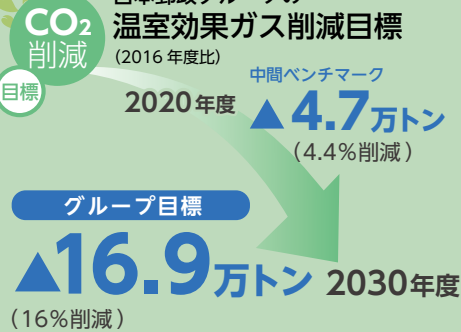
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

取り組み

1 日本郵政グループの2030年度環境目標

日本郵政グループは、環境負荷を抑制して持続可能な社会を実現するため、事業で排出する温室効果ガスの削減に向けた2030年度グループ目標を設定し、エネルギー使用量の削減などの取り組みを継続的に推進していきます。

日本郵政グループ 環境 Challenge



目標は、パリ協定を踏まえた日本の「地球温暖化対策計画」における温室効果ガス削減目標(2013年度比26%削減)に対応しています。日本郵政グループの事業で排出する温室効果ガスはCO₂が対象です。

取り組み

2

環境に配慮した配達

電気自動車の導入・拡大や、あらかじめご指定いただいた場所(玄関前、置き配バッグなど)に非対面でお荷物をお届けする「置き配」サービスの導入などにより、環境負荷の少ない配達に努めています。



電気自動車の導入・拡大

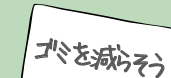
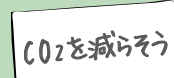
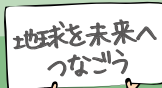
2020年度末までに、配達車両1,200台を電気自動車に切り替え予定。



再配達の削減

玄関先に取り付けるだけで「置き配」サービスをご利用いただける置き配バッグ「OKIPPA*」。

* Yper(イーパー)株式会社が提供する製品です。



地球環境への負荷低減に配慮した事業活動や環境保全活動を積極的に推進しています。

Environment 環境

取り組み

3 TCFDへの賛同

日本郵政・ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険は2019年4月、「TCFD*」の提言に賛同しました。提言に基づき、気候変動に関連した情報開示を進めていきます。



* TCFD 金融安定理事会(FSB)の下に設置された国際的組織。気候関連のリスクと機会について情報開示を行う企業を支援すること、低炭素社会へのスムーズな移行によって金融市場の安定を図ることを目的に提言を行った。

取り組み

4 ESG投資

かんぽ生命保険は、持続可能な社会の形成に貢献すべく、「ESG投資方針」の策定等を通じて、ESG投資へ積極的に取り組んでいます。

主なESGテーマ型投資*の事例



太陽光発電事業への投資



Climate Awareness Bond (気候変動への認知度を高める債券)への投資

©欧州投資銀行

* 社会課題解決につながる特定のテーマを持った資産等への投資

日本郵政グループの重点課題(マテリアリティ)

資源の有効利用と廃棄物の削減



目標 15 陸上資源

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

取り組み

5 3Rの推進

循環型社会の実現に貢献するため、廃棄物の削減(Reduce)、再利用(Reuse)、リサイクル(Recycle)の3Rを推進しています。

リデュース



ゆうちょダイレクト

紙の使用量削減

「ご契約のしおり・約款」のWeb閲覧や、無通帳型総合口座「ゆうちょダイレクト+(プラス)」、振替受払通知票Webサービスなど、紙使用量削減につながるサービスを提供しています。

リユース

ユニフォームのリユース

使われなくなったユニフォームを回収し、郵便局でリユースしています。



リサイクル

使用済み

インクカートリッジの回収

プリンターメーカーと共同で、使用済みインクカートリッジを回収しています。



回収箱設置箇所	回収実績	CO ₂ 削減効果
●全国3,639か所の郵便局 ●一部の地方公共団体	約355万個	134トン(杉の木15,300本相当)



取り組み

1 ダイバーシティの推進

日本郵政グループでは、多様な価値観を持つ人材がいきいきと働ける職場環境づくりを目指し、「ダイバーシティセミナー」などを通じて、従業員の意識改革・意識向上などに取り組んでおり、2019年4月には、アジア最大級のLGBT関連イベント「東京レインボープライド2019」に参加しました。



「東京レインボープライド2019」パレードへの参加



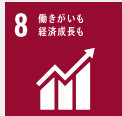
「ダイバーシティセミナー」の開催



「PRIDE指標」で「ゴールド」受賞
日本郵政グループ各社は、LGBT等に関する取り組みが評価される2019年度「PRIDE指標」において、最高評価である「ゴールド」を受賞しました。

日本郵政グループの重点課題(マテリアリティ)

働き方改革



目標8 経済成長と雇用

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

取り組み

2 ワークライフバランスの推進

日本郵政グループは「働き続けられる企業」を目指して、テレワークやサテライトオフィスなど多様な働き方を支援する環境整備を進め、多くの従業員が育児・介護・病気と仕事の両立を実現しています。



「プラチナくるみん」認定
日本郵政・ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険は、「子育てサポート企業」として、厚生労働省より「プラチナくるみん」に認定されました。

取り組み

3 健康経営の推進

長時間労働の抑制、生活習慣病の予防・改善に向けた保健指導など、従業員の心身の健康保持・増進施策に、会社と従業員が一体となって取り組んでいます。



「健康経営優良法人2019」認定
日本郵政・ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険は、「健康経営優良法人2019(大規模法部門)」に認定されました。



日本郵政グループの取り組み紹介

People

グループの事業活動にかかわるすべての人々の人権を尊重するとともに、安全で働きやすい職場環境の確保と、個々の従業員の自主性や創造性を発揮できる豊かな職場づくりを目指しています。

日本郵政グループ人権方針の制定

日本郵政グループは、持続可能な社会の実現に向けて、グループの事業活動に関わるすべての人々の人権尊重が不可欠であるとの認識のもと、2019年4月、「日本郵政グループ人権方針」を制定し、グループ全体で人権尊重の取り組みを推進しています。

誰もが活躍する社会へ

いきいきと働けるように

ワーク・ライフ・バランス

成長の機会をみんなに

日本郵政グループの重点課題(マテリアリティ)

人材の育成



目標8 経済成長と雇用

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

取り組み

4 人材育成

キャリアパスに応じた期待役割を果たす人材の育成のため、実際の職場での仕事を通して指導・育成を行う「OJT」などの実施や自己啓発に対する支援を行い、従業員の成長をサポートしています。



JP子どもの森づくり運動 「東北復興グリーンウェイブ」

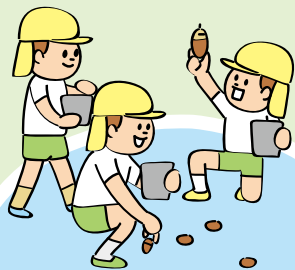
日本郵政グループは、2008年から特定非営利活動法人子どもの森づくり推進ネットワークが取り組む森づくり体験プログラム「JP子どもの森づくり運動」に賛同しています。2012年からは同活動の一環として、「東北復興グリーンウェイブ」を展開。東日本大震災で被災した東北の森の生物多様性の再生に寄与しています。



JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」は、2017年3月に国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)の連携事業として認定されています。



東北の森から出発!

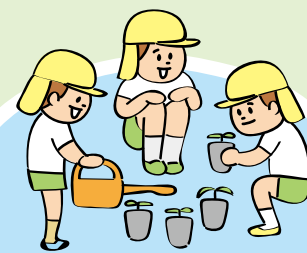


東北の園児たちが、地元のどんぐりを拾い、全国の保育園・幼稚園・こども園に届けます。

どんぐりを **拾う**



種、東北から全国へ



全国の園児たちが、どんぐりを苗木まで大切に育てます。

苗木に **育てる**



樹木に成長

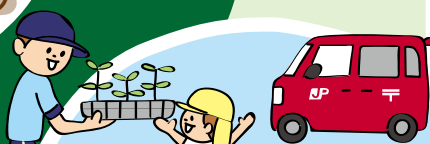


苗木に成長

東北の園児たちが、届いたどんぐりの苗木をグリーンウェイブの日(5月22日)に被災地に植えます。

被災地の土地に **植える**

苗木、全国から東北へ



大切に育てたどんぐりの苗木を、専用のボックスに詰めて東北へ送り返します。

被災地に **送る**



東北の緑の復興に願いを込めて

2008年にスタートした「JP子どもの森づくり運動」は、幼少期から植物や森林と触れ合いながら、自然や木々の大切さや命の尊さなど「健全な環境意識」と「たくましく生きる力」を育むことを目指す活動です。2012年からは東日本大震災で被災した東北の緑の復興への願いを込め、「東北復興グリーンウェイブ」を展開。2019年は岩手県の山田町と宮古市、福島県伊達市で植樹会を開催しました。

2012年に始まった東北復興グリーンウェイブは全国で開催されています



どんぐりを通じて、「東北と全国」「子どもたちと自然」をつないでいるんだね。

参加園数

94園

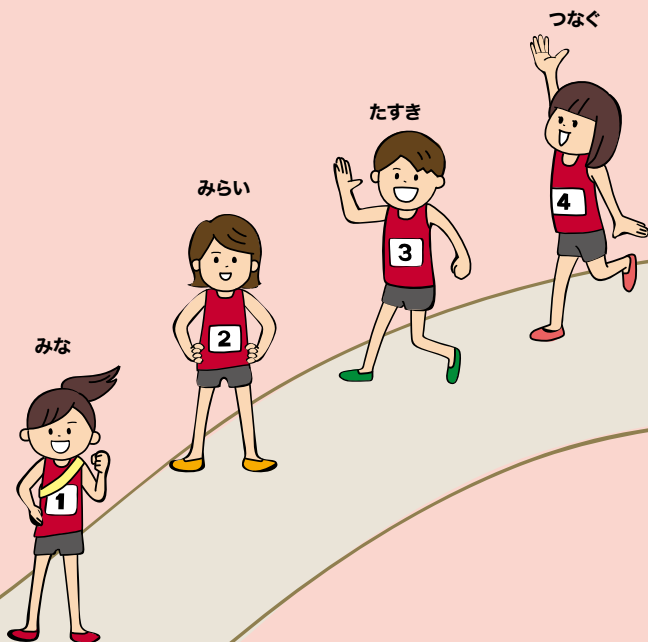
植えた木の本数

610本



SDGs Bookナビゲーターのご紹介

「日本郵政グループ女子陸上部」は、駅伝を中心とした中長距離選手の育成支援と同時に、スポーツ活動を通じた地域社会への貢献を目指しています。「手紙をお届けする郵便」と「たすきをつなぐ駅伝」、そして「未来へたすきをつなぐ取り組みであるSDGs」との親和性から、『SDGs BOOK』のナビゲーターのモチーフにしました。「皆(みな)でみらいへたすきをつなぐ」という日本郵政グループの思いが、それぞれのキャラクターの名前の由来となっています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

